

相模原市立緑が丘中学校
学校だより

紫陽花



自ら学び、考え、行動し、
心豊かに生きる緑中生

2026年7月10日発行

SNS と犯罪トラブルから身を守るために

～ 特別の教科道徳の授業を通して ～

校長 井上 成子

栃木県でおきた事件を受けて、市教育委員会が作成した教材を用いた道徳の授業を、7月6日(月)の1校時に実施しました。この授業を行うにあたり、6月中に職員研修を実施し、「どのようにアプローチすれば子どもたちの心により深く届くか」と意見を交わしあい、授業準備を進めました。

この日の授業では、いわゆる「闇バイト」に巻き込まれる主人公の心の揺れを「自分事」として捉え、「なぜ犯罪に巻き込まれたのか」「なぜ立ち止まらなかったのか」についてみんなで考えました。そして、どのような理由があっても、他者の生命や財産を傷つけるような行為は許されないこと、危険を感じた時点で決して一人で抱え込まず、信頼できる大人や相談機関につながることの大切さについて考えられるよう授業を展開しました。



スマートフォン等による SNS の利用は小・中学生の間にも普及しており、犯罪に巻き込まれる可能性も増えています。生徒のみなさんには、今日の道徳の授業や、先日実施した情報モラル講演会での教育委員会・須藤指導主事の講演で学んだことを生かし、スマートフォンや SNS 等を正しく活用してほしいと願っています。

保護者の皆様、この件についてはご家庭でも話題にしてください。そして、犯罪防止とともに、ぜひ「人の命の大切さ」についてお子様と話し合ってください。

また、お子さんの様子がおかしいなと感じたら、頭ごなしに叱るのではなく、「なにか困っていることはない？」と寄り添う姿勢を大切にしてください。また、お困りの際には、決して家庭内だけで解決しようとせず、すぐに学校や警察などの専門機関等へ相談してください。

★ 警察相談専用電話「#9110」 ★

お子さんがトラブルを未然に回避する力や、いざというときに正しく判断して相談できる力を育てるためには、家庭と学校が「両輪」となり、お子さんを見守り支えていくことが大切と考えます。そして、今回の授業を契機に、子どもたちが自ら考え、行動し、安全で豊かな日常生活を送れるよう、今後とも全力を尽くしてまいります。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

生徒の感想より



- 自分が今おこなおうとしていることは果たして良いことなのか悪いことなのかを正しく判断できるような生活をしたい。
- これから友達を選んでいくのだから、関わるべきでないこと、人、関わるべき人、ことなどについて、しっかり身につけていきたいと思う。また13歳の自分にとって、来年からは法律では大人なのだと意識できるようにしていきたい。
- もともと「自分はこうはならない」と思っていたが、この授業で「自分は本当に大丈夫か？」と少し不安になった。これからはインターネットの使い方などさらに気をつけていきたい。
- 「こんなのに何でだまされるの？」と思ったが、もしその立場に立ったら冷静な判断ができなくなると思うと怖いと思った。いつでも冷静な判断ができるようにしたいです。
- わたしはイヤでもあまり断ることができないタイプなので、イヤなときはイヤと言えるようになりたいと思いました。「断ることが100%悪いわけではない」「ときには自分の意見を相手に伝えることも大事だ」ということがよくわかったので、少しでも自分の意見を相手に伝えられるようこれからは言動を意識していきたいです。
- 自分自身もそうだし、他の人から誘われても「これはだめなことだ」とメタ認知を持って判断したり、自分の欲を抑えたりと、自分の人生を無駄にしないように生活したい。
- 友達や家族、先生など、ちゃんと姿が見える人たちを大事にしていくことが大切だと思った。
- 日常生活でも友達から頼まれて断れずそのまま受け入れてしまうことがよくあるから、自分でよく考えて判断できる力を身につけたいと感じた。
- 判断することに対して時間をかけることが大切だと思いました。一瞬の判断で自分や相手の人生を傷つけてしまうことを実感しました。
- 安全だと思っていたサイトでも、危険なことに巻き込まれたり人生を棒に振るったりすることがあると知ったので、自分は平気だと思わずに日々生活していきたいです。
- 犯罪は身近にあり、一瞬の判断で今後の人生まで影響があるということがわかったので、常にそのことを頭に入れて SNS を使い、自分が加害者にも被害者にもならないようにしたい。
- 闇バイトの知識を持って、怪しいと思ったらすぐに止めること、相談することが重要だと知ることができた。闇バイトで送ってしまった情報は、犯罪を犯して捕まった後も犯罪グループに残り続けるという、その怖さをしっかり考えて生活していきたい。

全校生徒の感想を読んで、生徒の皆さんが真剣に考えたことが伝わりました。まもなくはじまる夏季休業中は、自分で判断し、行動する機会が増えます。ぜひ、この授業をきっかけに、「正しい判断とは何か？」を日常生活でも考え続けてほしいと願っています。